

おひさまだより

令和6年3月1日



園長 免出 智美

寒さの中にも、少しずつ春の温かい日差しが感じられるようになり、今年度もあと1か月になりました。この一年間の子も達の変化は素晴らしいものがあり、心身ともに大きく成長しました。進級や卒園・入学という節目を迎えて、新しい生活への希望と自信を持ちながら園生活ができるようにしたいと考えています。今後とも、みどりの森おひさま保育園の保育推進につきまして保護者の皆様の温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

3月行事予定

月	日	曜	行事予定
3	1	金	ひな祭り会
	2	土	保護者交流会（そら組）
	6	水	園庭開放（未就園児）
	9	土	令和6年度入園説明会（一次）
	12	火	山登り（ひかり組）*おうち弁当
	13	水	山登り予備日（ひかり組）*おうち弁当
	14	木	身体測定（乳児組）
	15	金	身体測定（幼児組）
	16	土	令和6年度入園説明会（二次）
	18	月	卒園式リハーサル
	19	火	お別れ散歩（そら・ひかり組）*おうち弁当 花見散歩（うさぎ組）*給食弁当
	21	木	お別れ会（全園児）
	22	金	花見散歩（りす組①、そら組）*給食弁当
	23	土	第4回卒園式
28	木	花見散歩（りす組②、ひかり組）*給食弁当	

※変更の場合あり

★お弁当の日：9日、23日
★3月9日、23日は家庭保育に可能な限りご協力いただきありがとうございます。

自然遊びは科学者になること

もう春？と思うほど今年は暖かい日差しにほかほかですね。（室内の方が寒い感じるほどです）子ども達は自然が大好きです。虫などの生き物も植物も泥んこもみんな大好きです。ダンゴムシも泥んこも「ちょっとやめて」と言いたくなくなってしまふこともあるかもしれません。本来好きなのにそれを避けてしまえば、やがて子どもも苦手になってしまいます。たとえば、泥を触ったりカップに入れたりしている子どもがいます。親からするとただ泥遊びをしているだけだと思いがちですが、泥を触りながら「ぷにゅぷにゅ！」「とろとろ～」と泥の性質に気が付きます。ダンゴムシを捕まえた子は、ダンゴムシの動きを不思議そうに見つめ「丸くなった。動かなくなった」と小さな動きをじっと観察します。そうした興味は、科学者が「なんだろう？」と問いをもって観察する姿と同じなのです。それが、自然への「驚きの感覚」つまり「科学する心」を自然遊びの中で育てていきます。

～参照 非認知能力を育てる遊びレシピ～



サッカーに挑戦！！

広島県サッカー協会とのコラボ企画でサッカー巡回指導がありそら組、ひかり組が参加しました。あいにくの雨でホールでの活動となりましたが、子ども達はやる気満々で楽しみにしていました。まずは準備運動！朝リズムで行っている動きと同じだったことに毎日のリズムの大切さを改めて感じました。ボールを蹴ったり投げたりしながらボールと親しんだ後、ゴールに向かって試合が始まります。初めは蹴るのみだった動きから、ゴールを守ることに気が付き、キーパー役になったりと面白さが増してきたようでした。



ドキュメンテーションから抜粋（各クラスの1枚）

子どもは、遊びからたくさんのことを学んでいます。「何を感じ」「気付く」「理解できる」ようになるのか、「試す」「工夫する」「表現する」など学びに向かう力がドキュメンテーションに毎日記録されています。子どもたちの豊かな感性やおもしろい発想、友だちへの思いやり、協同する力をドキュメンテーションからみつけてください。



どんぐり（0歳児） 「どんな感触かな？」

体を自由に動かせるようになったことで、自分から進んで興味のある方へ行こうとする姿が増えてきています。「これはどうかな？」と感触や手触りなどを手のひらを使って確かめていました。「ツルツル」「ザラザラ」「ふさふさ」など色々な感触を五感で味わい、楽しむことで遊びへと繋がっていきます。

たけのこ（1歳児） 「初めての雑巾がけ！」

幼児組さんのリズムが気になり、ピアノの音が聞こえる度に廊下から顔を覗かせていたたけのこ組。「見てみる？」の声かけに期待感を膨らませてリズムを見ていました。じっくり見た後、やってみたい気持ちをもってリズムに向かって行き、自分もできた！ やって見た！ と達成感を味わっています。



りす（2歳児） 「野菜のお腹はどんな色？」

野菜の断面を見て楽しんでいます。自分の知っていることと繋げて考えていくことで、形、匂い、色など色々な所に興味を広げていきます。知ることが増えることで親しみを持ち「食べたことあるよ！」「美味しいよね！」と食べたい意欲にも繋がっていきます。

うさぎ（3歳児） 「ときどき筆絵の具」

初めての筆を使った絵の具の製作に興味津々でした。筆の持ち方や使い方を知り、同じ方向に筆を持って手先の器用さを養っていきます。遊びを通して持ち方や力加減によって線の太さや色の濃さの変化に気付き楽しんでいます。



そら（4歳児） 「どんなひな人形ができるかな？」

コーヒーフィルターでおひなさまの服をつくります。描いた色が変わり、にじみが全体に広がっていくをじっと観察していました。また、ひな人形にはお内裏様とおひな様がいること、それぞれどんな格好をして、何を持っているかそれぞれ想像力を広げたり、実際に見に行き本物に近づけようとしていました。見たこと、考えたことを基に手を動かす力が身に付いてきています

ひかり（5歳児） 「どんな力になるんだろう？」

絵本を読んで、赤色、黄色、緑色に食べ物が分かれて、それぞれに役割があることを知りました。始めは自分の答えが合っているのか不安な様子だった子どもたちも、食べ物の名前を言いながら皆で話し合い、グループに分けていくうちに食べ物の決まりに気付き、子どもたちで分類できる楽しい過ごしになりました。

